

畑地帯総合整備事業
農地整備事業（畑地担い手支援型）

土地改良事業変更計画概要書
（ 農業用道路 ）

県 名	岩 手 県
地 区 名	あなうし 穴牛・ むらまつ 村松・ やち 谷地
所 在 地	二 戸 市
事業主体	岩 手 県

目 次

第1章	目 的	-----	1
第2章	地域の所在及び現況	-----	2
	第1節 地域の所在	-----	2
	第2節 現 況	-----	2
	第3節 水利状況	-----	4
	第4節 営農の状況	-----	5
	第5節 地域環境	-----	5
第3章	基本計画	-----	6
	第1節 計画の要旨	-----	6
	第2節 環境への配慮	-----	6
第4章	工事又は管理の要領	-----	7
	第1節 工事の施工計画	-----	7
	第2節 管理の要領	-----	7
	第3節 予定工期	-----	7
第5章	換地計画の要領	-----	該当なし
	第1節 換地計画樹立の必要性	-----	該当なし
	第2節 換地計画樹立の基本方針	-----	該当なし
	第3節 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係わる地籍	-----	該当なし
	第4節 非農用地の換地方法	-----	該当なし
第6章	費用の概算	-----	10
第7章	効 用	-----	11
第8章	他の事業との関係	-----	該当なし
第9章	計画概要図	-----	11

第1章 目 的

本地区は、岩手県北部を貫流する一級河川馬淵川水系馬淵川の両岸に位置し、二戸市の東部の約35haの畑作を主体とした農業地帯である。

本地区の改良計画路線は、幅員狭少急勾配で農作物、生産資材の搬出に不便をきたしている。

よって、本計画により全面的に改良を行い、農産物の搬出入と輸送の増強、農作物の荷傷み防止効果を高めると共に、生活環境の向上を図ることを目的として整備する。

地 積

(単位：ha)

市町村	水田	普通畑	樹 園 地	小 計	山林原野	その他	合計
〃	5.0	19.2	10.1	34.3	—	—	34.3
二戸市	4.1	21.9	8.7	34.7	—	—	34.7

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在

岩手県二戸市

第2節 現況

第1項 地形、地質及び土壌

〃

本地区の地形は丘陵地に区分されるが、耕地の傾斜は $3^{\circ} \sim 8^{\circ}$ が地域全体の5割、 $8^{\circ} \sim 15^{\circ}$ が3割を占め、標高は最高が270mで、最低は100m程度である。

地質は、古代の堆積岩を基盤に、黒色を呈しており、腐植に富んだ土壌である。

第2項 気象

(1) 一般気象

岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版による。
馬淵川沿岸(Ⅱ期)農業水利事業 計画変更資料(H17)による。

観測所名	〃 二戸観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H. 20～H. 29年 S. 46年～H. 16年	5月～8月 4月～10月	9月～4月 11月～3月		
平均気温(℃)		19.0 16.3 ℃	5.1 0.7 ℃	9.7 9.8 ℃	
降 水 量	平均(mm)	445.6 741 mm	561 247 mm	1,000.4 988 mm	
	基準年(mm)	— 809 mm	— 282 mm	— 1,091 mm	平成元年
降水日数	平均(日)	40 74 日	76 52 日	115 126 日	
	基準年(日)	— 83 日	— 47 日	— 130 日	平成元年
根 雪 期 間		12月31日～3月9日 1月4日～3月8日		69日間 64日間	
無 霜 期 間		5月15日～10月12日 5月30日～10月6日		151日間 130日間	
最 多 風 向		〃 SW	最 大 風 速	12.3 13.0 m/sec	最多風向発生時期 最大風速発生年月日

変更後
変更前

(2) 特殊気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版による)
(馬淵川沿岸(Ⅱ期)農業水利事業 計画変更資料(H17)による)

観測所名	二戸	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位		
観測期間	S. 7~H. 29 (S. 46~H. 16)	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率
最大日雨量(mm)		207	H11. 10. 28	1/509 1/220	137 125	H25. 9. 16 H14. 7. 11	1/31 1/12	136 123	T4. 10. 18 H16. 9. 30	1/30 1/12	128 116	H18. 10. 7 S61. 8. 5	1/21 1/9	125 113	H14. 7. 11 H2. 10. 26	1/19 1/8
最大時間雨量(mm)		44 —	S60. 8. 8 —	1/56 —	43.5 —	H26. 8. 15 —	1/51 —	39 —	H11. 7. 13 —	1/24 —	35 —	S35. 8. 11 —	1/13 —	34 —	H8. 9. 1 —	1/11 —
最大4時間雨量(mm)		123 —	H11. 10. 28 —	1/180 —	121 —	H11. 10. 28 —	1/162 —	102 —	H11. 10. 28 —	1/59 —	98 —	H11. 10. 28 —	1/47 —	86.5 —	H25. 9. 16 —	1/25 —
最大連続旱天日数(日)		54 71	S18. 6. 20 S57. 1. 6~3. 17	・・・ 1/72	45 67	S3. 7. 18 S60. 12. 20~S61. 2. 14	1/857 1/47	42 54	S8. 5. 4 S55. 2. 6~3. 30	1/251 1/12	40 53	S4. 6. 23 S57. 12. 24~S58. 2. 14	1/120 1/11	39 50	S11. 5. 24 H7. 1. 8~2. 26	1/85 1/8

第3節 水利状況

第1項 用水状況

本地区は、作物の生育期間における降水量が少ないうえに、畑地かんがい施設が未整備なことから、不安定かつ生産性の低い農業経営を余儀なくされている。現在は、既設の共同給水槽から、用水運搬を行ったり、雨水に頼っている状況である。

第2項 排水状況

本地区の排水は、地区内の中小河川を経て、一級河川馬淵川水系馬淵川に流下している。

第4節 営農の状況

変更後
変更前

主副業別個人経営体数及び一経営体当たり平均経営耕作面積
専業別農家数及び平均経営耕作面積

2020年農林業センサス
農林業センサス（平成22年 2月 1日現在）

種 目			専業	第一種兼業	第二種兼業	計	一戸 当り 平均 経営 耕地 面積	田	普通畑	その他	計	地域指定等	
戸 数	二戸市	戸数	369 590 戸	127 380 戸	682 840 戸	1,178 1,810 戸		0.8 0.6 ha	0.7 0.7 ha	0.5 0.3 ha	2.0 1.6 ha	〃 農業振興地域整備計画 S45.3	
		割合	31.0 33.0 %	11.0 21.0 %	58.0 46.0 %	100.0 100.0 %		40.0 37.50 %	35.0 43.8 %	25.0 18.8 %	100.0 100.0 %	〃 振興山村 S44.12	
		戸数											〃 特定農山村 H5.9
		割合											〃 過疎地域 H26.4

経営農用地広狭別農家数

2020年農林業センサス
2010年農林業センサス

区分	農家総戸数	経 営 農 用 地 広 狭 別 農 家 数							耕地の分散状況		一経営体当り 一戸当り 平均耕地 面積
		0.5ha 未満	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 以上	自給的 農家	例外規定 の適用を 受けるもの	一戸当り 団地数	団地当り 面積	
二戸市	1,200 1,810	222 333	321 524	212 345	126 176	319 432	546 690	- 7	- -	- - a	2.0 1.6 ha

第5節 地域環境

〃

二戸市は、折爪岳と男神岩・女神岩に代表される馬仙峡の緑豊かな折爪馬仙峡県立自然公園があり、国蝶オオムラサキやヒメボタルなどが生息し、全国有数の化石の宝庫など豊かな自然に恵まれていおり、市の中心を流れる馬淵川は、市のシンボルとして多くの人々に親しまれている。

第3章 基本計画

変更後
変更前

第1節 計画の要旨

2,165

穴牛・村松工区、谷地工区合せて4路線L=2,250mの改良舗装を行い、農作業機械並びに農作物の搬入を容易

にし、荷傷み防止、走行費用の節減により農業所得の向上を図るものである。

事業計画一覧表

種別	事業量	摘要
支線道路 (穴牛・村松工区)	1,815 L= 1,900 m	3 路線 〃 アスファルト舗装、B=3.0m (2.5m)
支線道路 (谷地工区)	〃 L= 350 m	1 路線 〃 アスファルト舗装、B=3.0m (2.5m)
計	2,165 L= 2,250 m	

第2節 環境への配慮

〃

希少な野生動植物は特に確認はされていないが、工事施工にあたっては鳥類の営巣時期を避けることや、

振動・排ガス等に留意する。また、景観に関して、特に自然公園指定区域に隣接する工事などは、注意喚起

を促しながらも、景観を損なわない工事看板等の配慮を行なう。

第4章 工事又は管理の要領

変更後
変更前

第1節 工事の施工計画

〃

工事は全て県営事業により施工する。

第2節 管理の要領

〃

施工後の諸施設の管理は、二戸市が行う。

第3節 予定工期

平成	28	年度	～	令和	8	年度
平成	28	年度	～	平成	33	年度

第5章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

〃
該当なし

第2節 換地計画樹立の基本方針

第1項 従前地の地籍の基準

〃
該当なし

第2項 農用地集団化の方針

〃
該当なし

区 分	地帯別グループ	個 人 別 換 地 の 方 法		
	別団地の設定	位 置 の 選 択 方 法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い
換地区				

第3項 清算の方法

〃
該当なし

第3節 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係わる地籍

〃
該当なし

用 途	公 用 公 共 用 地				一般国有地	合 計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
計						

(単位：ha)

変更なし

第4節 非農用地の換地方法

//

該当なし

(単位：㎡)

区分 換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (㎡)	換地の手法	換地取得 予定者	備 考
計						

第6章 費用の概算

変更後
変更前

事業区分	事業費		負担内訳			
			国費 (千円)	県費 (千円)	市町村費 (千円)	地元 (千円)
農道整備	工事費	272,000 154,000	(50%) 136,000 77,000	(30%) 81,600 46,200	(20%) 54,400 30,800	
計	総事業費	272,000 154,000	136,000 77,000	81,600 46,200	54,400 30,800	

変更後
変更前

第7章 効 用

事業名	区分	項目	年増加効果額 (千円)	増加農業所得額 (千円)	備考
農道整備		品質向上効果	12,404 7,377	12,404 7,377	
		維持管理費節減効果	△ 332 △ 387	2,301 2,403	
		営農に係る走行経費節減	6,066 4,874	6,066 4,874	
		計	18,138 11,864	20,771 14,654	総費用総便益比 1.19>1.00 総費用総便益比 1.32>1.00

第8章 他の事業との関係

〃
該当なし

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	工期	事業費 (百万円)	前年度までの 進捗率	本事業との関連

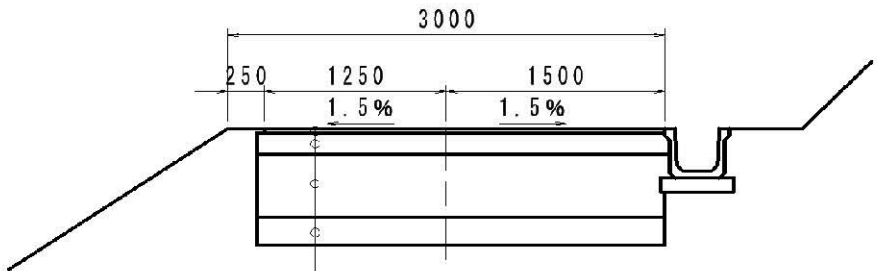
第9章 計画概要図

〃
別添

//

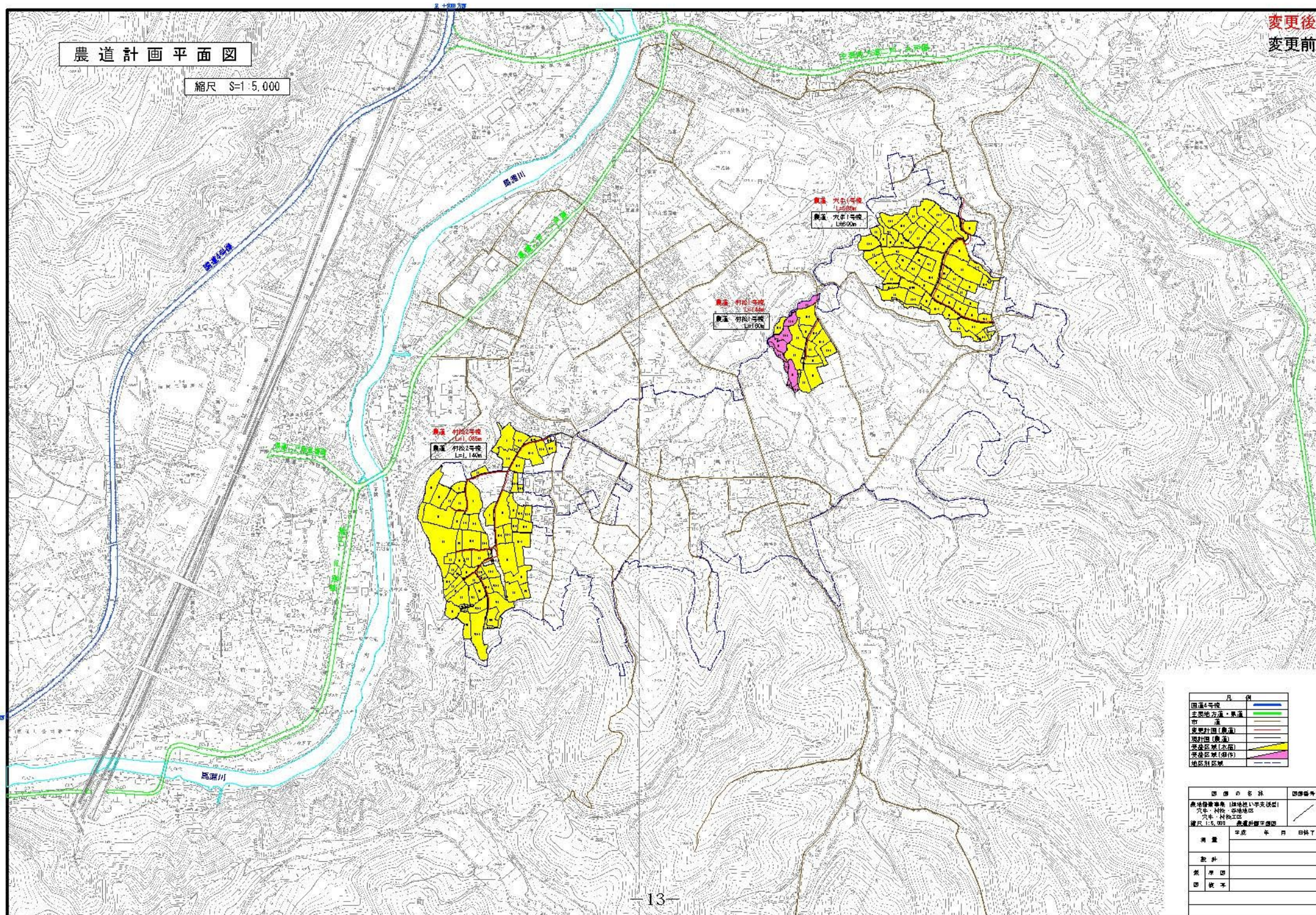
標準断面図

農道整備工



表層工	再生密粒度As(13F)	t= 3cm
上層路盤工	切込碎石25mm以下	t=15cm
凍上抑制層	再生クラッシャーラン80mm以下	t=45～48cm
置換工	再生クラッシャーラン80mm以下	t=20cm

農道計畫平面圖

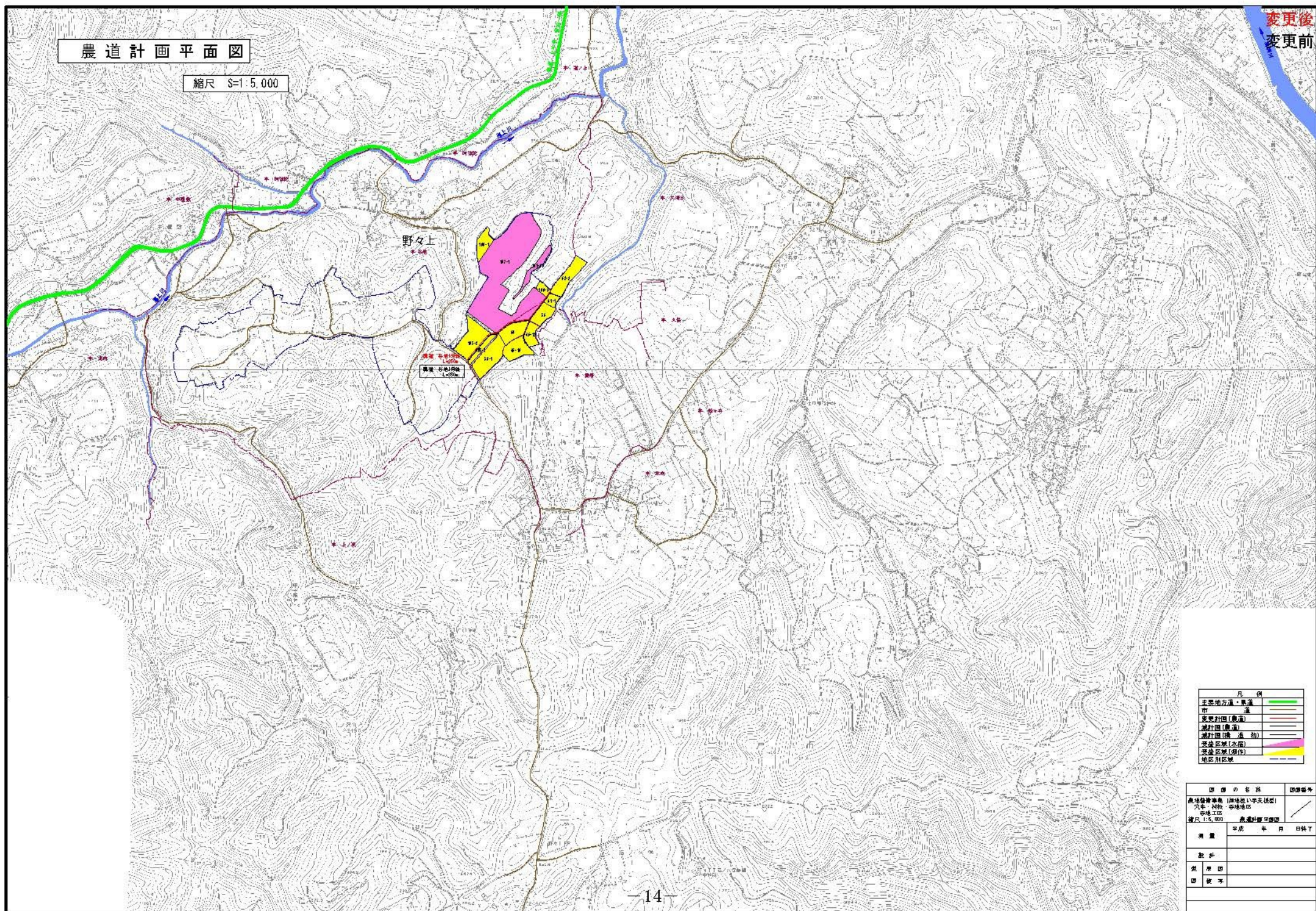
縮尺 $S=1:5,000$ 

凡 例	
国道4号线	
主要地方道・県道	
市 道	
重要計画(県道)	
現計画(県道)	
整備区域(水防)	
整備区域(耕作)	
地区別区域	

図 像 の 名 称		図解番号
産地發着集事(湖池越い平支渠區) 凡平・村松 赤池地区 凡平・村松工區		
縮尺 1:5,000		測量計画年度
測 量	平成 年 月 日終了	
説 明		
製 図 者		
図 検 査		

農道計畫平面圖

縮尺 $S=1:5,000$



凡 例	
主要地方道、县道	
市 道	
乡级村道(县道)	
乡级村道(镇 道 村)	
受灾区界线(水灾)	
受灾区界线(旱灾)	
行政区划界线	

因 應 の 名 称		因應番号
農地整備事業 穴水・村松 宮地工區	(宮地地区)平支保型 宮地地区	
課次 1.5.999	農産物産出促進課	
測 量	平成 年 月 日 日付	
数 計		
規 準 因	採 取 不	